

2008年度 第1四半期 決算説明会

富士フイルムホールディングス株式会社
2008年7月30日

注意 本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

2008年度第1四半期 連結業績

主要製品の販売数量は増加したものの、為替レート変動の影響等により減収減益
(単位:億円)

	2007年度 第1四半期		2008年度 第1四半期		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	100.0%	6,883	100.0%	6,537	-346	-5.0
営業利益	8.7%	598	7.0%	459	-139	-23.2
税金等調整前 四半期純利益	10.2%	700	8.4%	550	-150	-21.5
四半期純利益	6.0%	410	4.9%	319	-91	-22.1
1株当たり 四半期純利益		80.15円		63.31円		-16.84円
為替:米ドル		121円		104円		-17円
ユーロ		162円		163円		+1円

■ <参考> 営業利益増減要因(対07年度1Q): (単位:億円)

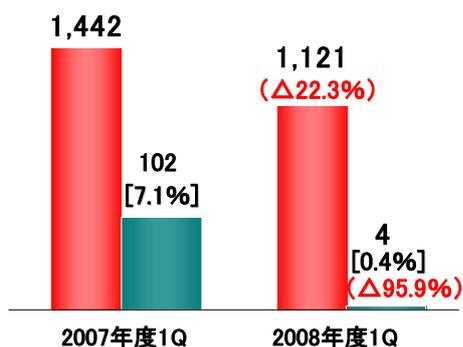
為替影響 ▲61 原材料価格上昇 ▲38 価格下落 ▲190
S&S効果 +130 拡販効果等 +20

■ イメージング ソリューション

売上高*・営業利益

■ 売上高
■ 営業利益

単位: 億円
[]: 営業利益率
(): 前年比



売上高

1,121億円 (前年比 22.3 %減)

- カラーフィルムの市場縮小、デジタルカメラの価格競争激化等により、減収。
- 為替円高影響 (△74億円)

営業利益

4億円 (前年比 95.9%減)

- 銀価格の高止まり、為替円高影響に加え、デジタルカメラの単価下落等により、減益。

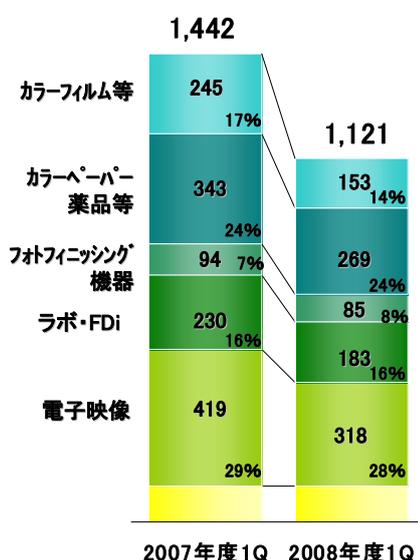
*セグメント間取引消去後

2

事業別セグメント情報

サブセグメント売上高

単位: 億円
%: 売上構成比



カラーフィルム等

153億円 (前年比: 37%減)

- 市場縮小による売上減少が継続するが、当社市場シェアは上昇。

カラーペーパー・薬品等

269億円 (前年比: 21%減)

- 他社との競争が激化する中、フォトブックなど付加価値プリントの拡販等により当社シェアアップを図る。

フォトフィニッシング機器

85億円 (前年比: 10%減)

- 大手取引先への導入が一巡したことによる販売減少が継続。
- 北米でインクジェットドライミラボの販売を開始。

電子映像

318億円 (前年比: 24%減)

- 第1四半期のデジタルカメラ販売台数は、ワールドワイドで185万台。
- 動画機能を充実したFinePix「Z20fd」、高画質で「世界最小・最薄」*ボディの「Z200fd」を発売し、拡販強化。

2007年度1Q 2008年度1Q

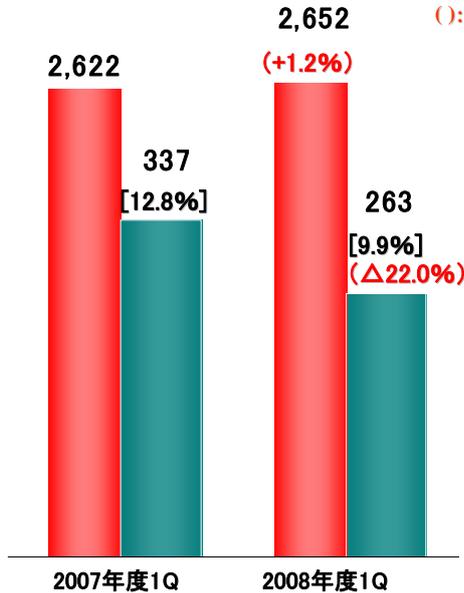
*光学式5倍レンズ・手ブレ補正機能搭載の有効画素数1000万画素以上のデジタルカメラにおいて、2008年5月現在。 3

■ インフォメーション ソリューション

売上高*・営業利益

■ 売上高
■ 営業利益

単位: 億円
[]: 営業利益率
(): 前年比



売上高

2,652億円 (前年比 1.2%増)

- フラットパネルディスプレイ材料、カメラ付き携帯電話用レンズユニットの売上増などにより増収。
- 為替円高影響 (△118億円)

営業利益

263億円 (前年比 22.0%減)

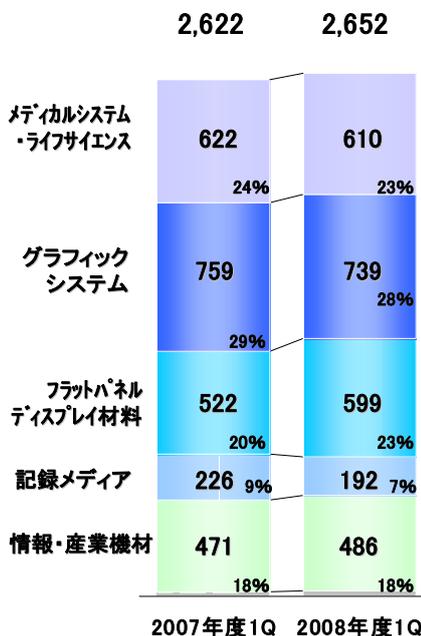
- 上記主要製品の販売数量は増加したものの、為替円高、原材料高騰等の影響を受け減益。

*セグメント間取引消去後

事業別セグメント情報

サブセグメント売上高

単位: 億円
%: 売上構成比



メディカルシステム・ライフサイエンス

610億円 (前年比: 2%減)

- 国内の診療報酬改定の影響により、フィルムの需要が減少したが、FCR機器、医用画像情報ネットワークシステムの売上は拡大。
- 乳がん検出支援システム、3D画像解析システム等のラインアップ強化。

グラフィックシステム

739億円 (前年比: 3%減)

- 米国経済不振による影響を受けたものの、新興国を中心に需要は拡大し、CTPの販売数量は引き続き拡大。
- 増大するデジタルプリント需要に対応した次世代インクジェットデジタルプリンティングシステム「JetPress 720(仮称)」の開発を発表。

フラットパネルディスプレイ材料

599億円 (前年比: 15%増)

- 「フジタック」、及び「WVフィルム」等の高付加価値フィルムの売上が拡大。
- 超広幅フジタック生産工場が順調に稼働。(2008年4月)

記録メディア

192億円 (前年比: 15%減)

- ミッドレンジ系「LTO Ultrium」*、エンタープライズ系データメディアは順調に販売数量を伸ばすが、為替影響等により、売上は低調に推移。

情報・産業機材

486億円 (前年比: 3%増)

- 光学デバイス分野でカメラ付き携帯電話用レンズユニットの売上が増加。
- 主要顧客の需要が増大し、産業用インクジェットプリンター用ヘッド売上が伸長。

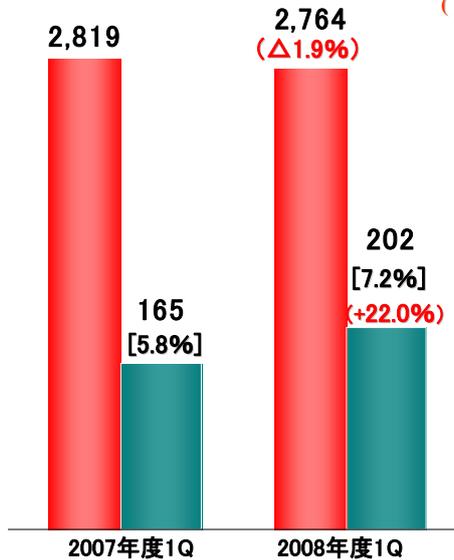
*LTO Ultriumは、IBM社、Hewlett-Packard社、Quantum社の米国及びその他の国における登録商標です。 5

■ドキュメント ソリューション

売上高*・営業利益

■ 売上高
■ 営業利益

単位: 億円
[]: 営業利益率
(): 前年比



売上高

2,764億円 (前年比 1.9%減)

- カラー機を中心に欧米向け輸出が好調に推移したものの、海外事業における為替変動に伴うマイナスインパクトの発生により減収
- 為替円高影響 (△87億円)

営業利益

202億円 (前年比 22.0%増)

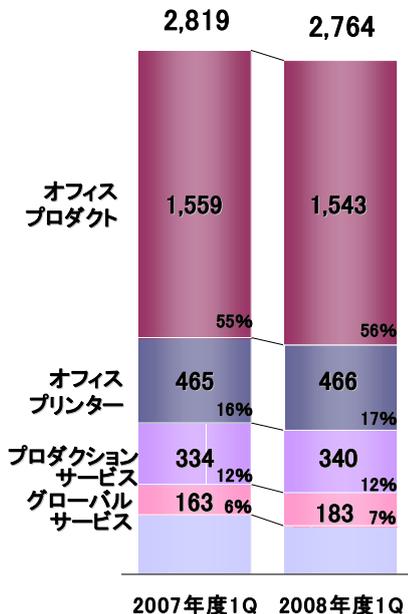
- 原価改善、販管費の削減により増益

*セグメント間取引消去後

事業別セグメント情報

サブセグメント売上高

単位: 億円
%: 売上構成比



オフィスプロダクト

1,543億円 (前年比: 1%減)

- 国内で、LEDプリントヘッド搭載のフルカラーデジタル複合機に加え、3月に発売した低価格のカラーデジタル複合機の販売が好調に推移。モノクロ機を中心に需要が減少する中で、国内販売台数は前年並みを維持。
- 欧米向け輸出、アジア・中国地域とも、カラー機の販売台数が増加。

オフィスプリンター

466億円 (前年比: 横ばい)

- 国内では、「DocuPrint C3050」、「DocuPrint C2250」を中心とした自社ブランドのカラー機販売台数が増加。
- 国内OEM販売は供給先の販売低調で売上が減少。
- アジア・中国地域、欧米向け輸出ともにカラー機の出荷台数が大幅に増加。

プロダクションサービス

340億円 (前年比: 2%増)

- 国内ではカラー、モノクロ機ともにパブリッシングシステム販売台数が増加。
- 欧米向け輸出でカラー・パブリッシングシステムの出荷台数が大幅に増加。

グローバルサービス

183億円 (前年比: 12%増)

- ドキュメントアウトソーシングビジネスを国内外ともに引き続き拡大。

2008年度第2四半期、通期の業績見通しは変更せず

(単位: 億円)

	2008年度 2Q累計 予想		対前年 増減 (%)	2008年度 通期 予想		対前年 増減 (%)
売上高:	100.0%	14,000	-0.6	100.0%	29,000	+1.9
イメージング		2,450	-16.0		4,900	-10.4
インフォメーション		5,750	+6.0		11,900	+7.4
ドキュメント		5,800	+1.1		12,200	+2.4
営業利益	6.8%	950	-12.6	7.2%	2,100	+1.3
税引前当期純利益	6.8%	950	-17.2	7.2%	2,100	+5.3
当期純利益	3.6%	500	-22.7	3.8%	1,100	+5.3
1株当たり当期純利益		99.13円	-27.35円		218.08円	+12.65円
為替:米ドル		102円	-17円		101円	-14円
ユーロ		159円	-3円		157円	-5円

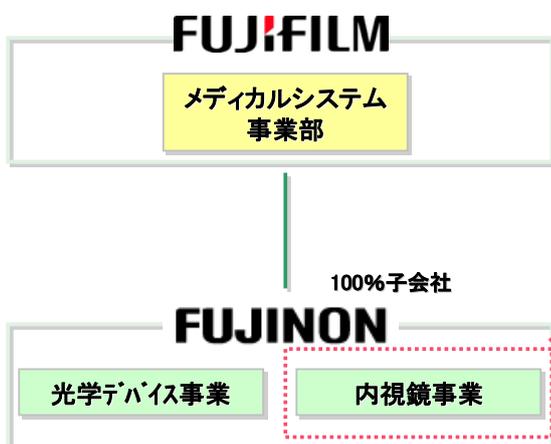
8

内視鏡事業の統合

富士フィルム(株) フジノン(株)の内視鏡事業を統合

<従来>

- 富士フィルム(株)とフジノン(株)が連携し、内視鏡事業を推進



<統合後(2008年10月1日~)>

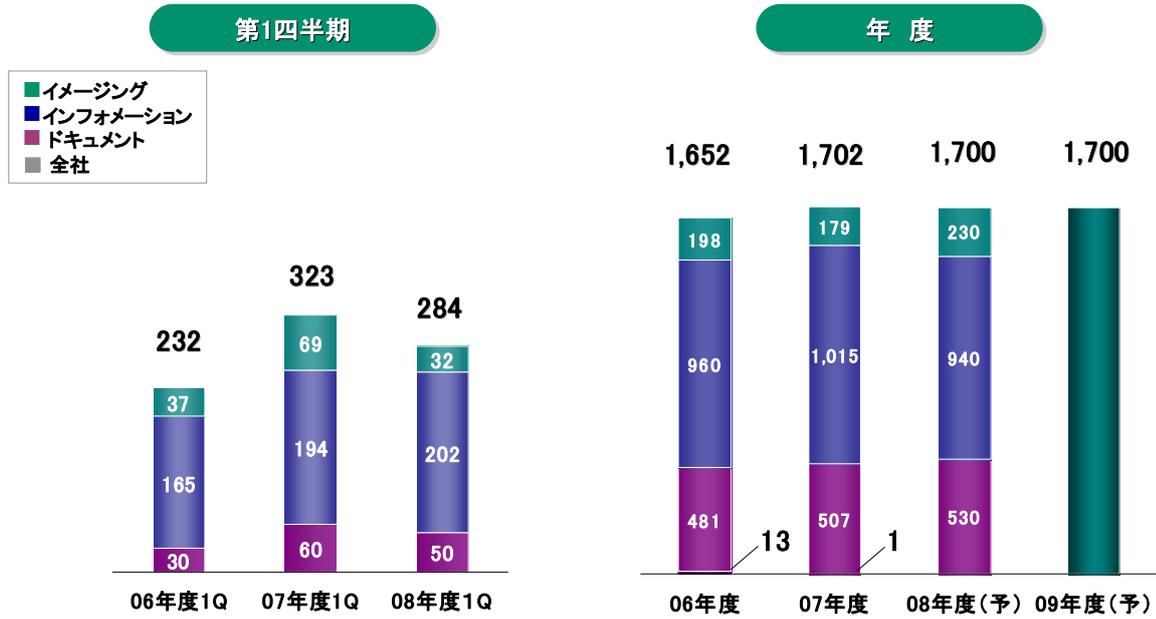
- 富士フィルム(株)が内視鏡事業を展開



9

■ 有形固定資産の設備投資額*

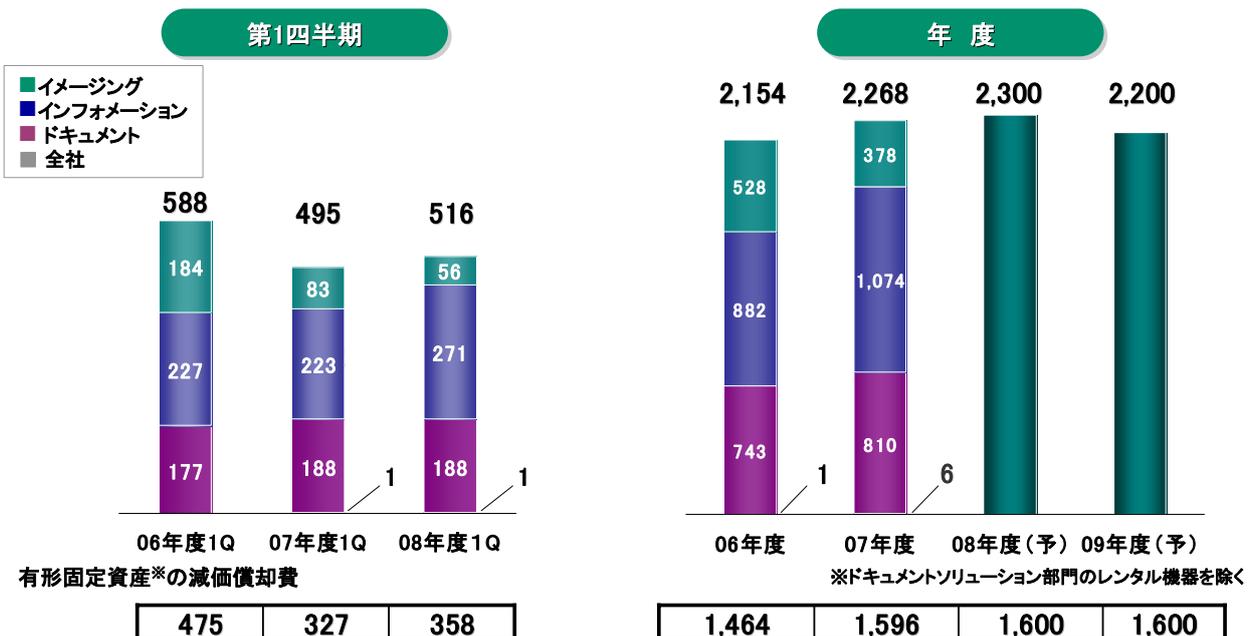
(単位:億円)



※ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

■ 減価償却費

(単位:億円)

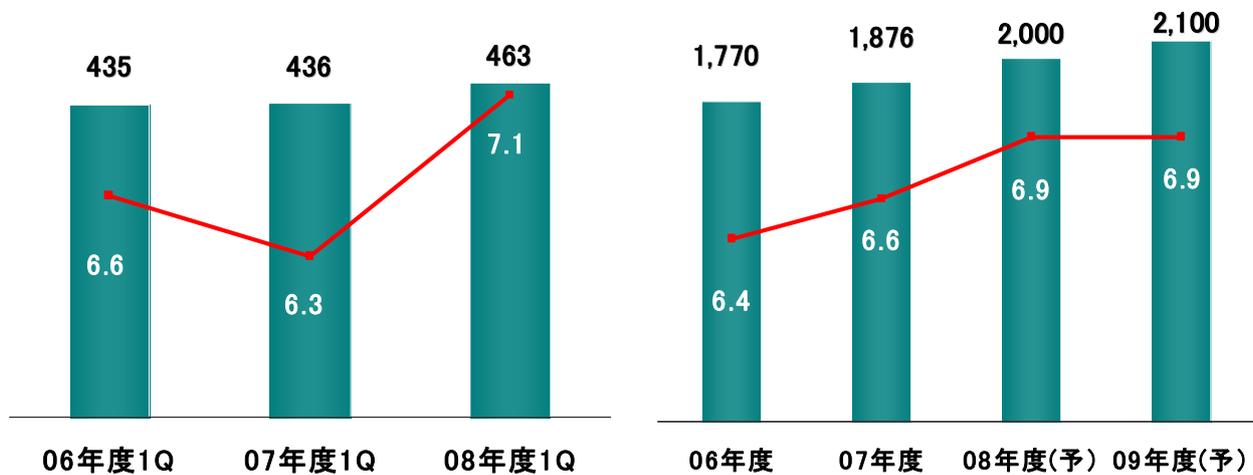


■ 研究開発費

(単位:億円)

第1四半期

年度



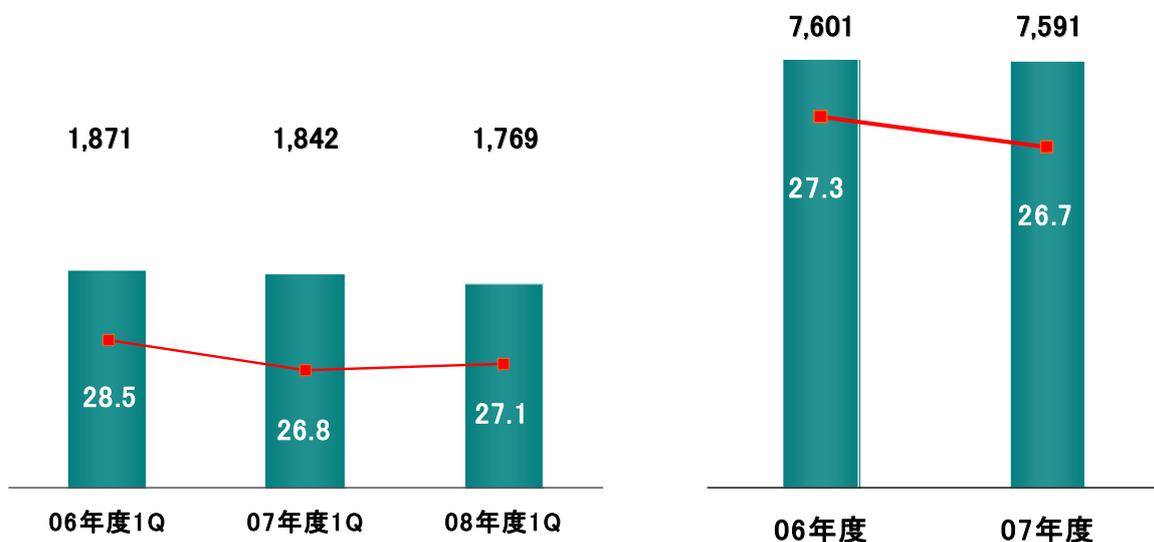
—■— :売上高に対する研究開発費の比率 (%)

■ 販売費及び一般管理費

(単位:億円)

第1四半期

年度

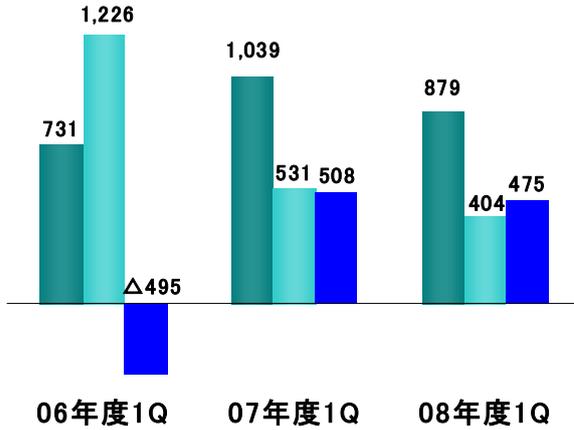


—■— :売上高に対する販売費及び一般管理費の比率 (%)

■ フリーキャッシュフロー

(単位:億円)

■ 営業活動CF
■ 投資活動CF
■ フリーキャッシュフロー



キャッシュフロー

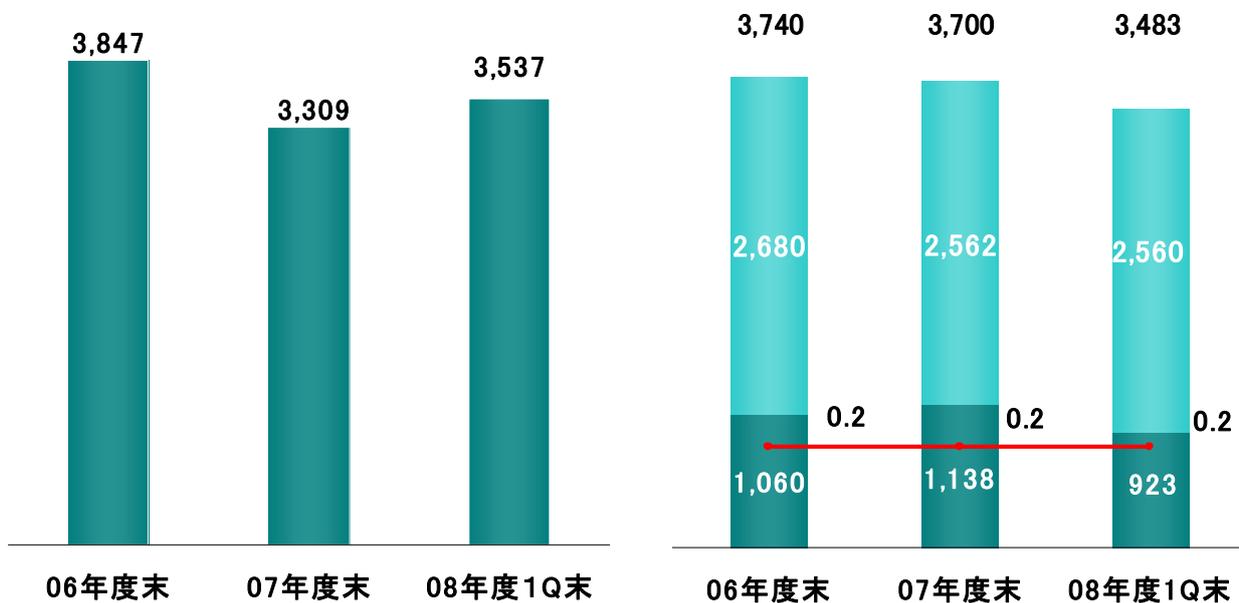
	07年度1Q	08年度1Q
四半期純利益	410	319
減価償却費	495	516
運転資本増減額	61	87
未払法人税等他負債の増加	85	95
その他	-12	-138
営業活動によるCF	1,039	879
設備投資	-354	-417
事業買収	-	-
その他	-177	13
投資活動によるCF	-531	-404
フリーキャッシュフロー	508	475

■ 現金及び現金同等物

■ 有利子負債

(単位:億円)

■ 社債及び長期借入金
■ 社債及び短期借入金
■ D/E レシオ(倍)

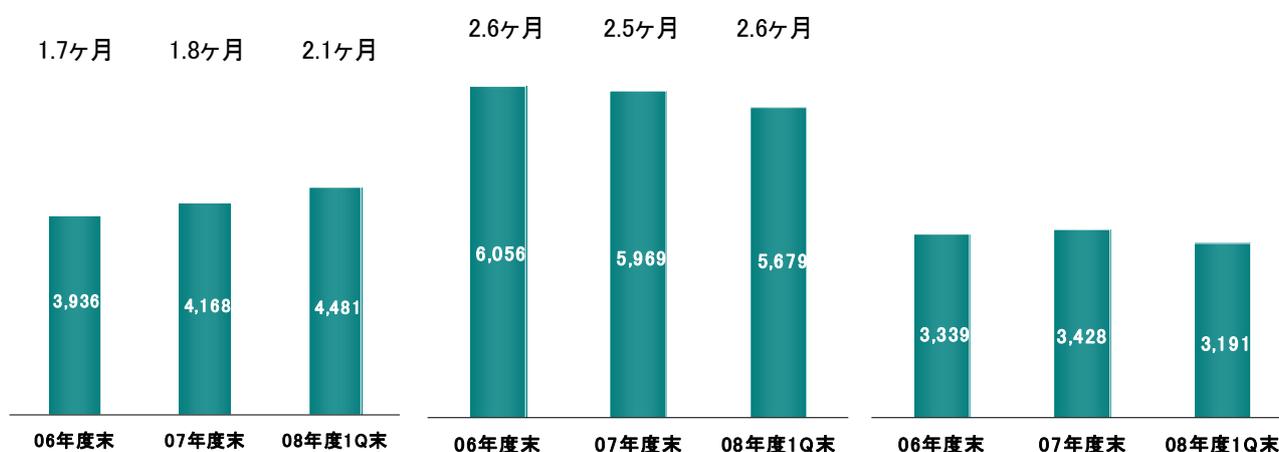


■ 棚卸資産

■ 受取債権

■ 支払債務

(単位:億円)
(保有月数)



■ VISION75 (2008) 業績目標

(単位:億円)

	2007年度		2008年度		2009年度	
	実績	前年度比 (%)	計画	前年度比 (%)	計画	前年度比 (%)
売上高:						
イメージング ソリューション	5,471	-9.6	4,900	-10.4	4,500	-8.2
インフォメーション ソリューション*	11,081	+8.0	11,900	+7.4	13,000	+9.2
ドキュメント ソリューション	11,916	+3.5	12,200	+2.4	13,000	+6.6
	28,468	+2.3	29,000	+1.9	30,500	+5.2
*参考						
メディカル/ライフサイエンス	2,900	+9.0	3,200	+10.3	3,600	+12.5
グラフィックシステム	3,100	+7.2	3,150	+1.6	3,250	+3.2
フラットパネルディスプレイ材料	2,100	+18.6	2,400	+14.3	2,600	+8.3
光学デバイス	1,000	+22.9	1,100	+10.0	1,200	+9.1
為替:						
米ドル	115円		100円		100円	
ユーロ	162円		155円		155円	

■ 富山化学工業(株)新薬開発スケジュール

開発番号	薬効	地域	開発段階					剤形
			非臨床試験	P I	P II	P III	申請	
YP-18	β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質	日本	2008年7月16日承認取得					注射
T-614	抗リウマチ剤	日本						経口
T-3811	ニュータイプのキノロン系合成抗菌剤	日本						注射*
		米国						経口/注射
		欧州						
T-3262 10% 細粒	ニューキノロン系合成抗菌剤	日本						経口
T-3762	ニューキノロン系合成抗菌剤	日本						注射**
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療剤	米国						経口
T-5224 (R7277)	抗リウマチ剤	日本						経口
		海外						
T-705	抗ウイルス剤	日本						経口
		米国						
T-1106	抗ウイルス剤	日本						経口
T-2307	抗真菌剤	日本						注射

* 経口剤「ジェニナック錠」としては、2007年に承認済み

**2002年に承認済みの「バシル点滴静注液」の用量追加

■ 為替、人員

● 為替

(単位:円)

	2008年度	2007年度				
	1Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
米ドル	104	121	118	113	106	115
ユーロ	163	162	162	164	159	162

* 為替感応度(年間/対営業利益) US\$ 12億円 ユーロ 11億円

● 人員

(単位:名)

	2008.6末	2008.3末	2007.6末	2007.3末
連結	78,765	78,321	78,161	76,358

FUJIFILM

わたしたちは、先進・独自の技術をもって、
最高品質の商品やサービスを提供する事により、
社会の文化・科学・技術・産業の発展、
健康増進、環境保持に貢献し、
人々のクオリティ オブ ライフのさらなる向上に寄与します。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 IR室

<http://www.fujifilmholdings.com>